

# SMART DIAG

## クイックスタートガイド

### 各部名称

**液晶モニター**  
各種情報を表示します。

**DB25 ポート**  
OBD2 ケーブルを接続します。

**RS232-C ポート**  
SD1250PR (オプションプリンター) を接続し印刷します。

**SD カードスロット**  
SD カードを挿入します。

**方向ボタン**  
画面移動やカーソルの移動時に操作します。

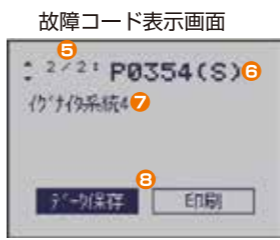
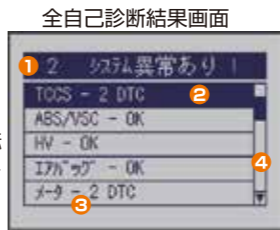
**YES ボタン**  
決定、実行をする場合に操作します。

**NO ボタン**  
キャンセル、中止をする場合に操作します。



### 画面説明

- タイトル**  
現在のシステムやメッセージが表示されます。
- 選択カーソル**  
項目に対して文字が反転します。選択する場合には表示されます。
- 故障コード数**  
故障コードの数が表示されます。
- ページカーソル**  
表示が長い場合に表示されます。上下移動でスクロールします。
- ページ数**  
複数のページになる場合、ここにページ数が表示されます。上下キーで表示内容が変更できます。
- 故障コード**  
故障コードが P、B、C、U の頭文字と 4 桁の数字で表示されます。
- 故障コード内容**  
故障コードに対しての内容を表示します。
- データ保存・印刷**  
保存: SD カードに保存します。印刷: SD1250PR で印刷します。



### 診断結果の表示

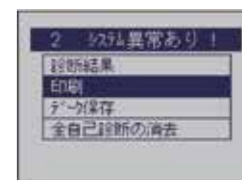
故障コードはコード番号 (例: P0354 (S)) と内容 (例: イグニタシステム4) で表示されます。また、複数ある場合は上下矢印で他の故障コードを表示できます。



※故障コード(S)は過去の故障コードという意味です。

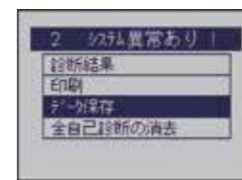
### 診断結果の印刷

診断結果を印刷する場合は [印刷] にカーソルを合わせて [YES] ボタンを押します。  
※[YES] ボタンを押す前に「SD1250PR」を接続し、電源を入れておいてください。



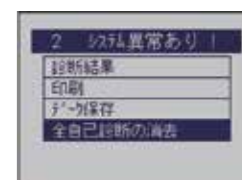
### 診断結果の保存

診断結果を保存したい場合はカーソルを [データ保存] に合わせて [YES] ボタンを押します。表示が変わり、「保存しました」のメッセージが表示されると、画面中央に表示された名前 (この例では Toyota\_DTC-001) SD カードに保存します。

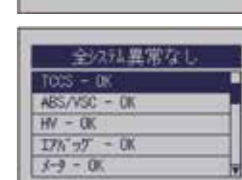


### 診断結果の消去

自己診断の消去を行う場合は [全自己診断の消去] にカーソルを合わせて [YES] ボタンを押します。SD1250が各ユニットの故障コードを消去していきます。消去が完了すると、一度全自己診断を行い、故障コードが消去されたことがわかります。



※故障コードの消去を実行しても故障が発生している場合は故障コードが表示されます。



### 診断方法

ここでは一連の故障コードの読取り方法と、印刷・保存・故障コードの消去について説明いたします。

#### SD1250の準備

- SD1250のSDカードスロットにはSDカードが装着されているか確認します。
- SD1250本体とケーブルに破損や損傷がないか確認します。

**1**

①車両がイグニッション“OFF”であることを確認します。

②SD1250を車両に接続します。

③車両のイグニッションを“ON”にします。

**3**

「メーカー選択」画面が表示されますので、診断するメーカーにカーソルを合わせて [YES] ボタンを押します。

「メーカー選択」後、メーカーによっては車種・年式等を選択する場合があります。

**4**

故障コードを読取りますので [診断] にカーソルを合わせて [YES] ボタンを押します。

**5**

例では全てのシステムを診断しますので [全自己診断] にカーソルを合わせて [YES] ボタンを押します。

**6**

SD1250が車両の各システムの故障コードを読取ります。

**7**

故障コードが入力されている場合は「システム異常あり!」と表示され、どのシステムに故障コードがあるか表示します。

**8**

ここから、診断結果を表示・印刷・保存・消去の項目から選んで実行します。



# SD1250 SMART DIAG rev.2.0

## パッキングリスト

**重要** ご使用前に必ずお読みください

SD1250 本体



SD カードリーダー



※製品の※印が変更になる場合があります。予めご了承ください。

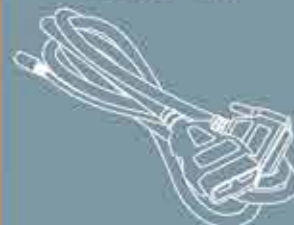
SD カード



シガーソケット接続ケーブル



OBDII ケーブル



クイックスタートガイド



## アップデート

ご使用になる前に行ってください。

### ステップ 1

SD1250 本体より SD カードを抜き取ります。



### ステップ 2



SD カードを付属のカードリーダーに挿入し、パソコンにセットします。

### ステップ 3※1

パソコンが SD カードを認識すると自動再生メニューが表示されます。ここで「フォルダーを開いてファイルを表示」をクリックします。



### ステップ 4※2

「SD1250 アップデート」の「アップデートチェック」ボタンをクリックします。



### ステップ 5

「アップデート完了」メッセージが表示されましたら、アップデートが完了したことになります。接続を解除して車両の診断を行ってください。



## 変更登録

お客様登録情報の変更の際は、以下の手順を行ってください。

左図のステップ 1 ~ 3 を実施してください。

### ステップ 4

「sd1250.exe」(アプリケーション)をダブルクリックし、実行します。



### ステップ 5

「sd1250 アップデート」が起動しますので「登録内容変更」ボタンをクリックします。



### ステップ 6※3

「ユーザー登録」画面が表示されますので、各入力欄にお客様の情報を入力し、「送信」ボタンをクリックします。



### ステップ 7※4

送信が完了したら、登録したメールアドレスのメールをチェックしてください。「admin@scantool.jp」より「scantool.jp 登録受付メール」が届きます。メールを開いて、内容にあるリンクをクリックしてください。

下記リンクをクリックすると認証が完了します。

<http://res.scantool.jp/serial/cont/link/abc/20130619>

※メールが届かない場合は「迷惑メール」の欄に移動されていないか確認してください。クリックするとお使いのブラウザで「認証完了」のページが表示されます。



**変更登録完了**

## 注意

### SD カード:

SD カードの取扱中にカードのロック機能が「LOCK」になっている場合は必ず解除してください。「LOCK」のまま使用するとアップデートや診断中の保存ができなくなります。

### セキュリティソフト:

SD カードをパソコンに接続した場合や、「sd1250.exe」を実行した場合に、セキュリティソフトが反応する場合があります。必ず「sd1250.exe」を許可してください。もし、ブロックしてしまった場合、「登録変更」や「アップデートチェック」が行えませんので、注意してください。



### ※1:

パソコンの OS により自動再生機能が OFF の状態では画面のように表示しません。表示しない場合は「マイコンピュータ」>「リムーバブルディスク」で表示させ、「sd1250.exe」(アプリケーション)を実行してください。

### ※2:

認証が完了すると、ソフトをダウンロードできるようになりますので、「アップデートチェック」をクリックします。「書き込みできません」のメッセージが表示された場合は、SD カードのロック機能を解除してください。このあと、「アップデート完了」のメッセージが表示されるまで、SD カードを抜き差ししないでください。

### ※3:

ユーザー登録画面ではお客様の情報(代理店名)を入力してください。この時、メールアドレスは必ず半角英数字で入力してください。間違えたメールアドレスを入力されると「送信できません。」のメッセージが表示されます。

### ※4:

ユーザー登録の送信が完了すると、弊社より、「scantool.jp 登録受付メール」が届きます。この時、このメールが受信 BOX に届かない場合は、「迷惑メール」のフォルダをご確認ください。また「ステップ 6」で複数回「送信」ボタンをクリックした場合は、その回数分メールが届きます。この場合、最新のメールを確認してリンクをクリックしてください。メールを確認して、「アップデート期間」が表示できれば、認証完了になります。

## 取扱説明書のダウンロード

この取扱説明書は PDF ファイルになっています。ご覧になるには Adobe Reader が必要です。また、バージョンの違いで表示できない場合がありますので、最新バージョンをダウンロード、インストールしてご覧になることをおすすめします。

### ステップ 1

「SD1250 アップデート」が起動した状態で、「取扱説明書」をクリックします。



### ステップ 2

取扱説明書のダウンロードが開始されます。



### ステップ 3

ダウンロードが完了すると、保存先を聞いてきますので、任意の場所に保存してください。



### ステップ 4

保存した場所に先ほどダウンロードしたファイルがありますので、ダブルクリック(または右クリック - 開く)で表示させます。

